

連載

★学校運動部活動の地域展開に取り組むクラブ★

特定非営利活動法人PALAISTRA 群馬県高崎市

学校運動部活動をめぐっては、少子化による生徒数の減少に加え、教員数の減少や専門的指導力を有する教員の不足等により、生徒のニーズに応じた部活動の維持・運営が困難となりつつある現状があります。文部科学省では、令和5(2023)年度から令和7(2025)年度までを「改革推進期間」、令和8(2026)年度から令和10(2028)年度までを「改革実行期間(前期)」と位置づけており、改革実行期間内において、原則としてすべての学校部活動における地域展開の実現をめざすとともに、地域の実情等に応じて可能な限り早期の移行を進めるよう各自治体に求めています。併せて、国が示す要件等に基づき、市区町村等が地域クラブ活動の認定を行う仕組みの構築も進められています。総合型クラブにおいても、学校運動部活動との連携や地域クラブ活動の担い手としての役割が期待されています。そこで今回は、学校運動部活動の地域展開に取り組むクラブの取り組みを紹介します。

1

クラブの理念と特徴

大学を拠点に多様な活動を展開

特定非営利活動法人PALAISTRA(以下「本クラブ」)は、群馬県高崎市を拠点に活動する総合型地域スポーツクラブです。育英大学・育英短期大学のスポーツ施設や教育施設を主な活動拠点とし、サッカー、レスリング、ソフトテニス、バレーボールを中心に活動しています(ソフトテニスはシニアのみ)。

現在の会員数は219名です。「多種目・多世代・多志向」の理念のもと、子どもから大人まで、年代や目的に応じて参加できる多様な活動を展開しています。



ソフトテニスの試合風景

競技志向と生涯スポーツの両立

競技力向上をめざす活動としては、サッカーのU-12・U-15、レスリングのクラスがあり、高い目標を持って取り組む子どもたちの育成を行っています。

一方で、生涯にわたってスポーツに親しむ機会づくりも重視しています。社会人女子サッカーやソフトテニスでは、楽しみながら継続できる環境を整備。レスリングではシニア世代がマスターズ大会をめざして活動し、バレーボールでは小・中学生を対象としたスクールを通じて、地域でスポーツに親しむきっかけづくりを担っています。



レスリングのPALAISTRA Wrestlingの合宿参加者



サッカーPALAISTRA U-15(中学生世代)。群馬県クラブユース選手権優勝時の一枚



社会人サッカーのPALAISTRA Ladies

「感謝」を育む充実した指導体制

本クラブでは「感謝」を活動の土台に置き、競技力の向上だけでなく、あいさつや礼儀、自立心、周囲への感謝の気持ちを育むことを大切にしています。指導にあたるのは、大学・短期大学の教職員に加え、元プロ選手などの有資格指導者や専門スタッフです。発達段階に応じた安全な指導と、保護者との丁寧な情報共有を心がけています。また事務局が施設調整や会計、指導者配置などを一元管理し、円滑なクラブ運営を支えています。



サッカーPALAISTRA U-12(小学生世代)。「感謝」を活動の土台に

2

地域展開への体制整備

認証取得に向けた運営体制の構築

本クラブは学校運動部活動の地域展開に対応するため、令和8(2026)年度から「総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度」の登録クラブとして活動しています。さらに、地域スポーツクラブ活動の運営団体としての体制を整えるべく、今年度中に「部活動の地域展開タイプ」を申請し、令和9(2027)年度からの認証取得をめざしています。

大学との連携による指導者育成

本クラブの最大の強みは、育英大学・育英短期大学との日常的な連携体制です。両校の教職員が理事や指導者として関わることで、施設活用や学生の指導参加が円滑に行われています。

特に、スポーツ教育専攻に在籍する学生(1学年130名)が、実践的な学びやボランティアとしてクラブ活動に参加しています。サッカーでは指導者資格(Cライセンス)取得をめざす学生が、レスリングやバレーボールでは競技経験豊富な現役学生が指導補助にあたっています。

現場に立つ学生は、技術指導以上に子どもたちとの信頼関係構築に直面し、日々試行錯誤しています。ある学生は、ミスをして落ち込む子どもへの接し方に悩み、まずは名前を積極的に呼び、学校生活など日常会話を心がけました。その結果、数週間後には子どものほうから質問や意見が出るように変化しました。学生自身も、答えを教える指導から「どうすればよかったかな?」と問いかける指導へと変わり、子どもたちの自主性を引き出せるようになりました。

「技術を教える以上に信頼を得るのが難しい」という現場での気づきを通し、子どもたちだけでなく大学生もまた大きく成長しています。



バレーボールスクールの活動風景

地域展開の要件を見据えた整理

活動財源は会費や寄附金を中心とし、活動場所は大学の施設を基本としています。また、文部科学省が示す認定要件を意識し、教育的意義の継承、適切な休養日、参加しやすい費用設定、安全・連携体制などの整理を進めています。今後は自治体との調整を深め、学校との情報共有の方法などを具体化していく予定です。

3

大学生との交流の成果

子どもたちへの好影響と安心感

大学生との継続的な交流は、子どもたちに多様な学びをもたらしています。年齢の近いロールモデルから技術的な助言を受けるだけでなく、大学生活や将来の進路について話を聞く機会にもなり、自らの将来を考えるきっかけにつながっています。保護者からも「複数の指導者や学生に見守られていて安心できる」との声が寄せられています。

学生の実践力と指導力の向上

大学生にとっても、地域スポーツの現場は貴重な実践の場です。声かけや安全確認、保護者との関わり方を実際に経験することで、将来、保健体育科教員やスポーツ指導者となった際に必要となるコミュニケーション能力や実践力が養われています。

連携を支える定期的な情報共有

学生の授業日程とクラブ活動の調整や、種目ごとの指導者配置には細やかな対応が求められます。そのため、日常的な連絡や相談には各種目代表やスタッフ間のグループLINEを活用し、密なコミュニケーションを図っています。

さらに、各種目で月1回程度の対面ミーティングを実施し、活動状況や課題を共有。重要事項や緊急案件が生じた際にもそのつど対面で打ち合わせを行い、迅速な意思決定を行っています。このように、大学教員、学生、クラブの指導者が連携して情報共有を行うことで、無理のない持続可能な運営を進め、地域内に学びと成長の好循環を生み出しています。

4

地域全体で支える環境

認証取得と地域連携の強化

少子化や指導者不足が進むなか、学校だけで子どもたちのスポーツ環境を維持することは困難です。本クラブは、学校運動部活動の教育的意義を継承しつつ、学校、大学、行政、保護者、競技団体などが強みを生かして地域全体で支える仕組みづくりが重要だと考えています。その一環として、令和9(2027)年度の「部活動の地域展開タイプ」の認証取得に向け、運営や安全管理の体制をよりいっそう充実させていきます。

スポーツを通じた人材育成の循環

競技力の向上だけでなく、スポーツに親しむ機会や居場所をつくることも総合型クラブの大切な役割です。地域スポーツの場は、子どもたちの成長の場であると同時に、将来の地域スポーツを支える人材を育む場でもあります。スポーツを通じた経験や学びが、次の世代へと受け継がれていく循環をつくるのが、地域スポーツの持続的な発展につながります。

地域資源を生かす未来に向けて

活用できる人材や施設、組織体制は地域によって異なりますが、それぞれの資源を生かして持続可能な仕組みを構築することが不可欠です。本クラブもこれまでの経験や課題を関係団体と共有しながら、誰もが生涯にわたってスポーツに親しみ、成長できる環境の実現に向けて取り組んでいきます。

特定非営利活動法人PALAISTRA 理事 根本 想

クラブプロフィール

設立年月日 平成21(2009)年5月30日 平成28(2016)年8月24日 法人登記

所在地 群馬県高崎市京目町1656-1

運営 会員数:219名(令和6年10月現在)、予算規模:26,700,000円(令和7年度)

特徴 本クラブは、育英大学・育英短期大学との連携を生かし、大学施設を活動拠点として活用するとともに、保健体育科教員やスポーツ指導者をめざす学生が指導補助として活動に関わっている点が特徴です。大学教職員も理事・指導者として関わっており、指導者確保、活動場所の確保、学生の実践的な学びを一体的に進めながら、学校運動部活動の地域展開に対応したクラブ運営を進めています。

連絡先 〒370-0011 住所:群馬県高崎市京目町1656-1
TEL:027-345-3153 FAX:027-353-8225
HP:<http://www.palaistra-team.com/>
E-mail:nemoto@ikuei-g.ac.jp